

派遣先所属 岩手県保健福祉部医療政策室
氏 名 山本 真司 (やまもと しんじ)
派遣期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

1 派遣業務の内容、現況

派遣先の医療政策室では、主に看護職員の確保対策に関する業務を行っています。

岩手県では、急速に進む少子高齢化に伴う医療需要の変化を踏まえて平成 28 年 3 月に、地域医療構想を策定し、構想の実現に向けた取組の一つとして医療従事者の確保に取り組んでいます。

岩手県の看護職員数は、平成 28 年 12 月現在 17,610 人であり、東日本大震災・津波前の平成 22 年と比較すると 7.1%増加していますが、被災地である沿岸部での増加率は、4.1%にとどまっており、被災した沿岸地域での看護職員確保は、大きな課題となっています。

具体的な担当業務としては、看護師等の育成を担う看護師等学校養成所の運営指導、補助事業の実施や看護の質を向上させるための各種研修の開催調整、看護職員のスキルアップ支援（認定看護師、専門看護師、特定行為の資格取得支援）のほか、看護学生や看護師等の県内定着を促進するための就職イベントの企画調整などです。

こうした事業を円滑に進めるためには、病院等医療機関、看護学校、県看護協会などの関係者の協力が不可欠ですが、岩手県の医療関係者の皆さんは、岩手の地域医療を支えるという熱い思いを持ち、医療、看護行政に対して常に真摯な助言と協力をしていただいております。



2 被災地の復旧・復興の状況

岩手県沿岸地域では、東日本大震災・津波によって医療施設の半数を超える 127 の病院、診療所が全壊、半壊の被害を受けています。

平成 29 年 8 月 1 日現在、104 施設が復旧しており医療提供を再開していますが、多くの医療施設が廃止しており、地域医療への影響が心配されています。

3 被災地へ派遣となって感じたこと

岩手県に派遣となって、ともに働く岩手県職員をはじめ関係する団体の皆様も、応援派遣職員である私を、とても親切に、温かくお付き合いいただいています。

岩手の人々は、実直で、優しい人柄の方が多く、安心して環境に馴染むことができます。

また、盛岡は、街並みが美しく、多くの山々や三陸の海など、自然が豊かで食べ物も美味しく、気持ち良く、豊かな生活ができる、素晴らしい環境です。

震災から6年以上が経過し、東北への復興支援が沈静化することが危惧されます。岩手県では、これから本格復興に向けて様々な取組みが予定されており、まだまだ人材を必要としています。是非、復興支援に関わっていただく多くの方が、岩手県を訪れてくれること心から願います。

(盛岡さんさ踊り：岩手県庁チームとして参加しています)

